

第3学年 外国語活動科学習指導案

日 時 令和8年7月11日(土) 2校時

対 象 3年2組

授業者 T1 工藤 麻乃

T2 Xavier Rice

1 単元名 すきなものをつたえ合おう Unit 4 I like blue. (Let's Try! 1 文部科学省)

2 校内研究との関わり

本単元では、児童が自分の好きなものを伝え合う活動を通して、多様な考え方があることを知り、互いの好みや考えを尊重し認め合う姿を目指す。特に、いろいろなもの・こと(色、スポーツ、食べ物、飲み物など)の中から尋ねてみたいことを選び、やり取りする活動を通して、自分の学習の方法を調整する力を育てたい。また、教師と児童、児童同士のペアやグループでの対話はもちろん、全員が達成感を味わえるよう、よりよい交流の在り方について考える活動も取り入れながら学習を深めていきたい。

本時では、「自律に向かう学び」のうち、以下の段階を位置付ける。

- ㊦ 子どもが選択する場面が生まれる。
- ㊧ 児童と教師が学びの進め方を調整する。
- ㊨ 児童が自分たちで方法を考える。

さらに、好みの違いを肯定的に捉えること、一人ひとりの好みの違いを共有することを通して、

- ② 認知・思考の多様性

を生かした学びにつなげたい。

3 本時の授業

(1) 目標

好きかどうかを尋ねたり答えたりする活動を通して、心地よいコミュニケーションについて考え、様々な好みや考え方があることに気づき、互いの違いを尊重しながら好みを伝え合うことができる。

(2) 展開 3/4

学習活動	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
1 挨拶をする 2 Warm-up 【スモールトーク 3年生で大事なこと】 楽しくお話 エコーイング・リアクション (30秒続ける) ・教師同士→教師と児童→児童同士で行う。 3 Let's Listen & Demonstration ・Let's Listen3を聞き、やり取りの内容を確かめる。	・小中連携スモールトークを行う。 ・Echoing(繰り返し)とReaction(反応・感想)の大切さを確認する。 ・多様な考えを認めながら学習を進め、安心して表現できる雰囲気を共有する。 ☆児童同士のやり取りの際は机間支援を行う。 ・二人が関連ある内容を順番に話題にしていることや全部の項目を聞いていることに気付かせる。

学習活動	・教師の働きかけ ◎評価 ☆支援 □校内研究との関わり
・ T1, T2 の Demonstration を聞き、Let's Listen3 のやり取りとの違いを考える。 【Demonstration】 T 1 : I like pudding. Do you like pudding? T 2 : No, I don't. T 1 : Really? You don't like pudding! OK. T 2 : I like ice cream. Do you like ice cream? T 1 : Yes, I do.	・ 自分の好きなものを伝えてから相手に尋ねていること、Echoing（繰り返し）と Reaction（反応・感想）をしていること、興味のある項目を取り上げて話題を展開していることが意識できるようにする。 ・ 児童が目指すコミュニケーションの姿を二つの会話の違いから、イメージできるようにする。
4 Self Time ① すきなものを伝え合う時、どのようなことに気が付いたらよいのだろう。 ・ 自分も相手も心地よいコミュニケーションとはどのようなものか、そのためにできることは何かを考える。	・ 友達の新しい面を発見できるかもしれないという喜びから、好きなものを伝え合う活動のよさに気付かせる。 ☆実態に応じて、関わり方（目を見る・笑顔で・伝わる声で）、気持ち（自分も相手も大事にする・楽しい）、方法（反応・感想）の視点等も気付かせたい。 □方法を選択する場面があり、それを教師と共に調整する。[自律㊦・㊧・㊨]
5 Activity① ・ 教師と児童でやり取りする。 ・ 先生と友達とのやり取りのよかったところを見つける。 ・ 実際のコミュニケーションの中から、自分のやり取りのなかで頑張りたいことを意識する。	・ 挙手をもとに数名の児童を指名し、やり取りする。 ☆教師とのやり取りから、もっと頑張りたいことや、よりよくしたい気持ちを捉え、全体に広げていく。
6 Self Time ② ・ よりよくなる方法を試す。 先生とやり取りする/ペア以外の友達とやり取りする/一人で練習してみる	・ 児童の思いや考えを尊重し、自己選択させることでこれからの学習の自律につながるきっかけとする。
7 Activity② ・ 児童同士でやり取りする。	◎心地よいコミュニケーションを考え、様々な好みや考え方があることに気付き、互いの違いを尊重して好みを伝え合っている。（話すこと・やり取り／思考・判断・表現／行動観察・発表・ワークシート） □相手の新たな面を発見したり、共感したりできるようにする。[多様性②]
8 Reflection ・ 振り返りシートに記入し、学習での気付きを確認する。 9 挨拶をし、次時の予告をする。	☆友達の好みへの気づき、やり取りのよかった点等を肯定的に受け止めることができるようにする。 ・ 次時の活動の意識付けを図る。